

## 受賞者の概要

### 施設部門

#### <最優秀賞>

○看護小規模多機能あわらんち（福祉施設）

〔 設置者：合同会社 愛笑                      設計者：株式会社 空環境計画 〕

入口に庇を設けて雨や雪でも車から乗降しやすくしているほか、機械浴のできる浴室や沐浴に対応しているなど、十分に整備されている。また、施設のイベントや防災訓練を地域と合同で開催し、施設利用者と地域住民が交流できる場を設けることで地域ネットワーク形成を図っている。



#### <優秀賞>

○和乃食 はねや（飲食店）

〔 設置者：株式会社はねや                      設計者：北川ヒューテック株式会社 〕

トイレのドアはローリング式になっており、大人数に対応した掘りごたつの客席は床板をはめ込むことで椅子席に変更できるなど車いす利用者も利用しやすくなっている。また、通常の食事が難しい方には刻み食や流動食を提供するなど、様々な利用者に配慮されている。



## <奨励賞>

○北陸信用金庫 野々市支店（金融機関）

〔 設置者：北陸信用金庫      設計者：株式会社VΛN建築事務所      〕

車いす用駐車場が建物の入り口近くに配置されており、標識が道路側から認識しやすい位置に設置されている。音声付き非常警報装置の設置、筆談ボードを備えているなど、様々な利用者に配慮されている。



## 活動部門

### <最優秀賞>

○劇団 そら組

活動開始：平成22年

活動地域：金沢市、野々市市近郊

- ・病院や善隣館、児童デイサービス施設、地域のイベント等での歌やダンスの披露、高齢者向けの折り紙教室やデコパージュ教室開催などのボランティア活動を行っている。
- ・高齢者や車いす使用者、障害のある子どもなど、参加者に合わせて内容や使用する小道具を変えており、会場にいる全員が参加できるような演出を心掛けている。



### <優秀賞>

○特定非営利活動法人 日本きもの文化振興会

活動開始：平成14年

活動地域：金沢市ほか県内外

- ・車いす使用者でも簡単に着たり着せたりできる「UD（ユニバーサルデザイン）着物と帯」の普及に努め、これまでに脊椎損傷者の団体や特別支援学校、金沢駅のほか、県内外で普及のための発表実演会を実施している。
- ・UD着物は腰の位置に伸縮布ベルトを通すための加工がしてあり、帯はあらかじめ成形加工してあるため、面ファスナーで留めるだけで簡単に着装できる。



### <奨励賞>

○一般社団法人 ユニバーサルデザインいしかわ

活動開始：平成29年

活動地域：石川県全域

- ・ユニバーサルデザインの普及推進を目的に、ユーザー参加型ワークショップやセミナー、シンポジウム等を開催している。
- ・視覚障害者や聴覚障害者、車いす使用者とフィールド調査を行ってデザイン企画をまとめ、また多様な企業とプロジェクトを実施することにより、ユニバーサルデザインを実践する人材育成にも力を入れている。



## 福祉用具部門（一般部門）

### <最優秀賞>

○どこでもおでかけコミュニケーション機器固定具他1点  
(萩 豊人)

- ・自宅用の意思伝達装置固定具はかさばるため持ち運びに不向きであること、また車内に意思伝達装置を取り付けて使用すると走行時の揺れで使用者の目線と合わず上手く反応しないことから、車いすに取り付けられる固定具を作成。既存のカメラ固定具を使用し、車いすに傷がつかないようにゴム等で取り付けている。(写真左)
- ・人工呼吸器使用時のカフ上部に貯留した分泌物を吸引するポンプを作成。吸引圧に耐えられるよう霧吹きボトルを使用している。(写真右2枚)



### <優秀賞>

○お洋服、温めますかぁ？ (高松 外美子)

- ・てんかん発作治療薬の変更により寒さに敏感になった息子のため、暖房を使わない季節でも容易に洋服を温められる保温箱を段ボールで作成。
- ・突っ張り棒に洋服を吊るし、上蓋に開けた穴からドライヤーで温風を送ることで温める。段ボールの内側にアルミシートを貼り、ドライヤーの挿入口にはキッチンの排水溝カバーを使用することで保温性を高めている。



○首楽 (森田 正美)

- ・既存のアームスリングは首にかかる部分がベルト状のもので食い込みやすかったため、布でアームスリングを作成。
- ・首から肩にかかる部分を太くして食い込みを防ぎ、肘の部分は袋状にして使用時に安定するよう工夫している。内側にポケットを付けて小物を入れられるようにしたほか、腕の部分にメッシュ素材にして快適に使用できるようにしている。



### ○やわらか、あごベルト（佐藤 陽子）

- ・車いすでの外出中、振動等で頭が前や横に倒れたまま自分で戻すことができないことによる息苦しさや、流延に対処するため作成。
- ・車いすのヘッドサポートの支柱部分にゴム紐を結び付け、使用者の顎に合わせて支える。ゴム紐を使用することで過度な固定がないため、首の廻旋を妨げず、顎から外れてしまった場合でも首が閉まることのないようになっている。



### <奨励賞>

#### ○経腸栄養剤加圧ポンプ「経管ちゅるちゅる」

（訪看リハビリステーションいまひら

光田 雅人）

- ・市販の使い捨てタイプの投与器具では経済的負担が大きいため、使用者の負担軽減のため作成。
- ・所定の方法で接続した栄養剤パックをポケット部分に入れて加圧する。シリンダータイプの空気ポンプや自転車用の空気部品等を使用して作成しており、加圧ポンプを半永久的に使用することができる。



### ○だれでもおそうじ パルンバ（川並 真悟）

- ・車いす使用者でも容易に掃除をすることができるよう作成。
- ・車いすのフットプレートに固定させることで、移動しながら掃除をすることができる。モップ部分は高さや角度が調整できるようになっている。



### ○通風マット (浜野 美月)

- ・車いすでの外出時、汗などによる背中への不快感を軽減させるために作成。
- ・送風機を取り付けたマットを車いすの背もたれに立てかけることで背中側の通気性を確保している。送風機の電源は、長時間外出することを想定し、充電式で大きめのバッテリーを使用している。



### ○ニギニギスプーン (川原 ほのか)

- ・手指に痙縮がある方の食事を補助するため作成。
- ・スプーンの柄に垂直に握り部分を取り付けることで本来の持ち方に近い状態で使用でき、柄を握って持つ場合と比べると、肘を上げる必要がないため、より食事しやすくなっている。



### ○三爪支僕 (木村 啓紀)

- ・ベルトの着脱が困難な場合に、ベルトの代替品として使用するために作成。
- ・3本の支えがついた留め具をズボンの端に差し込み、内側へスライドさせることでウエスト部分を調整できる。



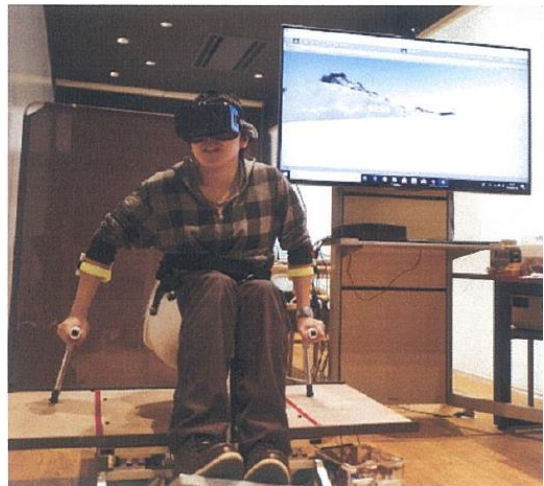
## 福祉用具部門（企業部門）

### <最優秀賞>

#### ○チェアスキーシミュレータ

（金沢工業大学クラスター研究室）

- ・チェアスキーの普及と体験を目的に作成。
- ・バケットに着座し、アウトリガーを握りながら体を左右に傾けることでチェアスキーの体験ができる。台座は仮想空間の映像と連動して動くため、ヘッドマウントディスプレイを着用することで、より臨場感のあるシミュレーションを行うことができる。



### <優秀賞>

#### ○パソッテルBタイプ金具の改良

（川端鉄工所 株式会社）

- ・従来品のパソッテル（パソコンスタンド）の固定力を強めるため改良を行った。
- ・従来品ではサイドバーを固定する金具に角パイプを使用していたが、台形型に変更することでサイドバーに接する面が増え、固定用ネジを強く締めることなく固定することができる。



（改良後）



（旧型）

### <奨励賞>

#### ○そのまんまOKシリーズ（三徳屋株式会社）

- ・高齢者や嚙む力が弱い方でも食べやすいよう、小さく加工した柔らかいこんにやくご飯（でんぷん加工品）を使用したレトルトカレー。
- ・加熱等の調理が不要で長期常温保存が可能のため、災害時の非常食とすることができる。
- ・全国の病院、介護施設、特別支援学校等へ納品されている。

